

第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会のシンポジウム & ディベートに登壇しました (2018/11/4)

テーマ：災害医療とリハビリテーション医学・医療：何が出来るか、どう準備するか
会場：仙台国際センター（宮城県仙台市, 日本）

2018年11月4日（日）に仙台国際センターで開催された第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会において、当研究所 災害医学研究部門の江川新一教授がシンポジウム & ディベートに登壇しました。災害医学において、リハビリテーションは切っても切れない関係があり、避難所に長期間滞在するだけで、日常の活動性は大幅に低下し、慢性疾患の増悪や、意欲の低下にもつながります。また、リハビリテーションという言葉そのものが、社会復帰という意味とともに、建物や都市、社会の復旧・復興というまさに災害と直接つながる言葉でもあります。

このシンポジウムは災害医療とリハビリテーションの経験豊富な演者によって構成され、何が出来るか、どう準備するかをテーマに総合討論も行われました。

江川新一教授は『災害医療の基礎知識』と題して、災害リスクの考え方と災害後の医療ニーズとくにリハビリのニーズにどのように対応するかについて講演しました。また、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)の概要と活動についての発表や、南相馬市立総合病院で地震・津波・放射線災害のトリプル災害に対して現地で取り組んだリハビリテーションの現状や課題についての発表がありました。熊本地震に対して支援を行った広島JRATが、平成30年7月豪雨災害において支援者かつ受援者として直面した課題の提示がありました。徳島大学からは、南海トラフ地震を想定したリハビリテーション体制整備の現状と問題点の提示があり、多くの悩みを抱えながらも地域のリハビリテーションを支えるチームが全国的に形成されつつあることを実感しました。

発災後に県庁の災害対策本部に保健医療調整本部が設置され、そのなかにJRATも入ることはすでに推奨されています。ただ、現時点では日本医師会の災害医療チーム(JMAT)のもとで活動することになっており、災害救助法によって資金的な援助がある間は活動できるけれども、長期的なリハビリテーションにつなぐところが不十分になる可能性があるとのことでした。JRATの活動は長期間の支援として継続される必要があり、動員や指揮命令系統の課題、行政からの認知、長期間におよぶ支援の在り方などが課題として浮かび上がりました。地域のリハビリテーション資源が豊富にあるところは、その復旧を待てばよいのですが、地域に十分なリハビリテーション資源がないところは、その資源を増やす復興をしなくてはなりません。江川新一教授は互いに顔の見える関係を築き、保健医療調整本部の動き、現場の動きを理解してはじめて効率的な支援・受援が可能になること、ここでのケアセンターのように、時限的であっても長期間その地域で支え続ける組織の設置や確立がひとつのアイデアになるのではないかと提言しました。

南相馬市立病院では、トリプル災害によって職員が1/3に減少し、地域住民が帰還してもリハビリテーションを支える人材が極端に不足しました。被災地の被災者でもある医療従事者をどのように支えるかは大きな課題であり、効果的な支援ができる点でもあります。広島では公衆衛生の支援チーム(DHEAT)が入ってきてから、いろいろな調整がスムーズにいくようになったとのこと。徳島では県の危機意識が高く、リハビリテーションを含めた多職種連携の研修がすすんでいます。

被災地のニーズ、支援者の支援能力を効果的に調整できるコーディネーターの働きが重要です。異なる職種が互いに防災について話し合うこのような機会をとおして、チーム災害医療が形成され、災害医療がより実質的なものになっていきます。

平成29年度四国ブロックDMAT実動訓練

2018.1.20 徳島県

- 保健医療調整本部運営
- 指揮所運営
- 参集拠点
- 患者集積場所、SCU
- 避難所
- 多職種連携
- ロジスティクス

医療関係

- 小児・周産期医療：小児・周産期リエゾン
- 精神科病院支援：DPAT先遣隊
- 透析：透析医会、透析ネットワーク
- 在宅酸素：市会、呼吸器医会
- 避難所アセスメント：保健衛生コーディネータのもとで実施
- **福祉避難所アセスメント：介護福祉コーディネータとリハビリテーション圏域リーダーのもとで実施**
- 福祉タクシー
- 医療ガス
- 歯科医師会：歯科検診車等

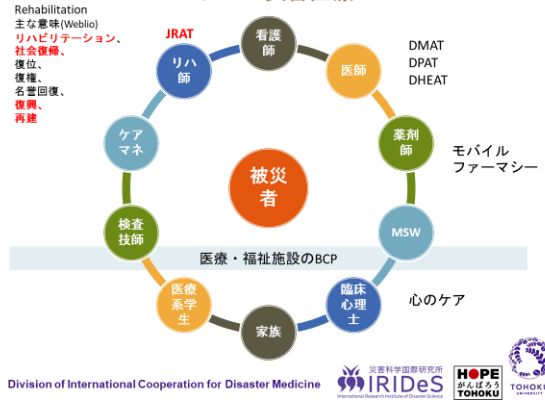


Division of International Cooperation for Disaster Medicine



徳島県の実働訓練で活躍する JRAT

チーム災害医療



チーム災害医療の考え方